

2023年10月15日

BFP イメール通信 「緊急支援レポート」

*ガザ国境の町から

10月7日(土)のテロ組織ハマス攻撃によるイスラエルの犠牲者は、一般市民が1200人以上、兵士は170人。1日でこれだけのユダヤ人が殺されたのは、ホロコースト以来のことです。そして、今、イスラエルの人々の最大の痛みは、ガザに捕らえられている150人の方々の安否と言っても過言ではありません。引き続き彼らの守りをお祈りください。

こうした中、BFP イスラエルは戦争開始以降、フル稼働で支援活動を展開しています。今週は、昨日(火)と一昨日(水)にBFP CEO ピーター・ファスト自らが陣頭指揮をとり、南部のガザ国境近くの町々を訪問し、町の方々とお話しし、支援物資をお届けしてきました。これらの町々は、20年以上にわたりBFPがタウンサポートで支援し、信頼関係を築いてきた町々です。

どうか世界中から寄せられているBFPの支援物資とボランティアたちの存在が、傷ついた方々の慰めとなりますよう、お祈りください。また今、イスラエルで仕えるボランティアとその家族の心身の守りのためにもお祈りくださると幸いです。

慰めよ、慰めよ、わたしの民を。——あなたがたの神は仰せられる——
(イザヤ 40:1)

彼らは言っています。

「さあ 彼らの国を消し去って イスラエルの名が もはや覚えられないようにしよう。」(詩篇 83:4)

週報

§ 今年の教会テーマ
「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句
「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)

今週の礼拝メッセージ 岩井牧師
タイトル 「事が願うように進まない時にも…」
聖書箇所 使徒の働き 17:1～15

ピリピはマケドニアの玄関口ともいえる町でした。その町に導かれたパウロの働きによってリディアをはじめ、次々と信仰に導かれる人が起こされました。また悪霊に憑かれた少女から悪霊を追い出すという御業もなされましたが、彼女によって利益を得ていた者たちの恨みを買ひ、パウロとシラスは捕らえられ、牢に入れられるという苦難にも会いました。しかし、その様なことに挫けず、主を見上げて祈り、賛美の歌を歌うパウロたちの信仰に应えて、神は奇跡的なみわざをもって彼らを牢から解放されました。

ピリピを後にしたパウロとシラスが次に向かったのはマケドニア地方の首都とも言えるテサロニケの町でした。この町では反対者の妨害のために、3週間ほどしか滞在できませんでしたが、彼らの伝道を通して主を信じる者が大勢起こされました。

そして、迫害するユダヤ人たちから逃れるようにして、彼らはベレヤという町に移って行きましたが、主はこのベレヤでの働きを大いに祝福され、多くのユダヤ人とともに、ギリシャ人などの異邦人の中からも少なからずの人々を救われ、信じる者とされました。

1. テサロニケでの働きについては Iテサ1～3章

Iテサ 2:1-2 「私たちがあなたがたのところに行ったことは、無駄になりませんでした。2:2…私たちは先にピリピで苦しみにあい、辱めを受けていたのですが、…激しい苦闘のうちにも神の福音をあなたがたに語りました。」

⇒ Iテサ 1:6-8

2. 祝福されたベレヤでの働き 使 17:10-14

- ①素直な人で⇒マタ 10:16 鳩のように素直で…
・マタイ 13:3-9 良い土地に落ちた種のように
- ②熱心にみ言葉を聞き、…毎日聖書を調べた

3. 事が願うように進まない時に… 使 17:5, 13

「ところが、…」

⇒「どうして、なぜ今こんなことが…」と、思わずにおれないような出来事に直面したような時にも「すべての事が共に働いて益となる」という信仰を！

① 祈りが生まれてくる

詩篇 50:15 悩みの日にわたしを呼べ

② 忍耐が養われる

ロマ 5:3-4 患難が忍耐を生み出し、忍耐が…
【患難→忍耐→練達→希望】

③ 知恵が与えられる

《報 告》

- ※ 来週日曜、礼拝後の12時半から国際霊園内の教会墓地で墓前礼拝を行います。
- ※ 毎日のニュースで伝えられているように、今イスラエルは1948年の奇跡的な建国以来、国家存亡をかけて最大の危機的な状況にあります。教会でも、今のイスラエルの困難な状態を覚えて、毎朝6時半から執り成しの祈りを捧げるため、早天祈祷会を持ちたいと思います。